

## あ と が き

今年度、主題を「問い続け、学び続ける子どもたち」と設定し、研究を進めてきました。新しい研究テーマの初年度である本年度は、特に副題は設けていません。それは、「問い続ける」とはどういうことなのか、「学び続ける」とはどういうことなのか、ということを各教科部会において意見や考えを出し合い、それぞれの教科の特性に応じて検討していこうとしたからです。各教科部会、グループで何回も話し合いを持ちました。また、全ての教員が研究授業を行うことで具体的に協議してきました。研究授業の際には、多くの先生の指導助言をいただきました。ときには、厳しい意見もいただきました。

- ・学習についていけない子が多い。教師はそれを見ているのか。見ているのなら、なぜ指導しないのか。
- ・子どもが聞いていないから、発言しても声が小さい。日常的な繰り返しなので、子どもは聞き合いになれていない。
- ・子どもがつまらないと言っていることに教師は気付いていない。
- ・一人一人を評定するのではなくて、一人一人が百点になるような授業をしないと。

これらは、協議会いただいた助言でもありますし、控え室で個人的にお話しされたこともあります。厳しいご指摘こそ職員に伝えるようにしました。職員にとっては、ショックなことであつたはずですが、しかし、自分たちの授業、自分たちの子どもの見とりを見直し、真摯に研究に取り組むことが必要であると思いました。研究企画に関わる職員を中心に話し合いがもたれました。そして、普段の授業から、時間を見つけ相互に授業を見合い、意見を交換する姿を見かけるようになりました。

来年度は、今年度の研究をもとにより具体的に「問い続け、学び続ける子どもたち」を提案していけるものと確信しています。

今日まで、大勢の皆様からいただいたご意見・ご指導を糧に、今後も研究を進めていく所存です。ささやかではありますが、研究成果としてまとめた紀要を多くの方々にご高覧賜り、ご教示、ご批正いただければ幸いに存じます。

副校長 池田 彦男